

## 講座

12

## 空・海・陸の大規模観測と地球未来予測

オンライン併用

【会場定員】 50名 【オンライン定員】 20名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『自然科学』活躍する科学・技術 【時間】 毎回13時00分～14時30分（計12回）

## 概要

人工知能とロボットは、社会実装として今後の生活のあり方を変えるだけではない。私たちの住む地球の時々刻々の変化を観測し、その未来を予測する上でも欠かすことができない。本講義では、大規模観測の科学と技術におけるその現状をわかりやすく解説いただき、その知恵を未来につなぐことを学ぶ。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 4(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	地球大気海洋の大循環と地球温暖化による将来変化 (1)	東京大学大気海洋研究所教授 佐藤 正樹
2	10/11(金)		海洋と地球環境とその未来 (1)	東京大学大気海洋研究所教授 横山 祐典
3	10/18 (金)		海洋と地球環境とその未来 (2)	
4	11/ 1(金)		地球大気海洋の大循環と地球温暖化による将来変化 (2)	東京大学大気海洋研究所教授 佐藤 正樹
5	11/22(金)		大規模海域調査・研究で地震発生帯の実像に迫る(1)	海洋研究開発機構 中村 恭之
6	11/29 (金)		大規模海域調査・研究で地震発生帯の実像に迫る (2)	
7	12/ 6(金)		地理観測とその未来 (1)	東京大学教授 須貝 俊彦
8	12/13 (金)		地理観測とその未来 (2)	
9	12/20 (金)		過去・現在・将来の津波 (1)	東京大学地震研究所 名誉教授 佐竹 健治
10	1/17(金)		過去・現在・将来の津波(2)	
11	1/24(金)		地震発生予測の現状と課題～事前の備えに予測を活かす～(1)	海洋研究開発機構 堀 高峰
12	1/31(金)		地震発生予測の現状と課題～事前の備えに予測を活かす～(2)	